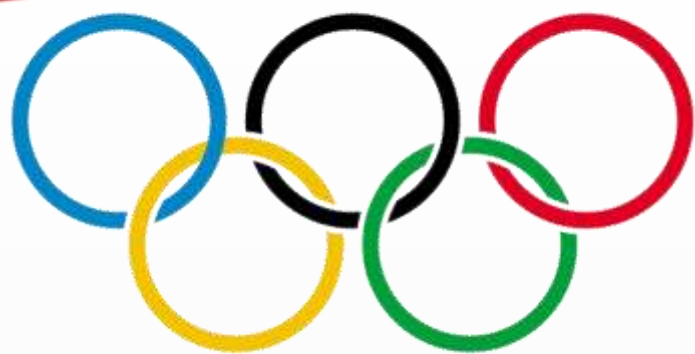


R 3 0 2 2 2
地域ワークショップ



県立川西高等特別支援学校

令和2年度新潟県オリンピック・パラリンピック教育推進事業

教育活動全体で取り組む

オリンピック・パラリンピック教育

報告の内容



実践の概要

実践の内容

- 美術：オリパラモチーフによるポスター制作（5～7月）
- 海保ファミリーとのポッチャ交流会（9月18日）
- 生徒会：世界の国旗制作（9～10月）
- 1学年：クロアチア調べ学習（9～10月）
- スヴェンさんのクロアチア紹介（10月23日）
- 新潟WBCとの車いすバスケットボール交流会（10月23日）
- 日本の文化・茶道体験（11月9日・12月14日）
- 校長特別講義「オリパラを知ろう」（12月24日）
- 体育：シッティングバレーボールとゴールボール体験（1月）
- 音楽：音楽で世界を旅しよう（1～2月）

成果と課題

- 「オリンピック・パラリンピック教育推進授業」アンケート（2月）
- おわりに（成果と課題）



実践の概要

外部連携の学校行事

- 海保ファミリーとのポッチャ交流会
【海保美宏さん（日本選手権クラス3位）】
- 新潟WBCとの車いすバスケットボール交流会
【松永哲一さん他3名（新潟WBC選手）】
- スヴェンさんのクロアチア紹介
【スヴェン・ビエランさん（十日町市スポーツ振興課国際交流員）】
- 日本の文化・茶道体験
【太田藤絵さん（茶道表千家教授）】

NPO法人ネージュ
スポーツクラブ連携



教科学習

- オリパラモチーフによる【美術】
ポスター制作
- シッティングバレーボールと【体育】
ゴールボール体験
- 音楽で世界を旅しよう【音楽】

地域の
人材活用

自国文化
異文化理解

教材活用実践

生徒会活動

- 世界の国旗制作

学年・学級活動

- 1学年：クロアチア調べ学習

教育活動 全体で

特別授業

- 校長特別講義「オリパラを知ろう」



実践の内容

美術：オリパラモチーフによるポスター制作（5～7月）



グラデーションで下地作りし、スポーツシルエットをコラージュ、モダンテクニック（スパッタリング・スタンピング等）でポスターを彩る



学校行事
スポーツフェスタの
ポスターとして掲示



海保ファミリーとのボッチャ交流会 (9月18日)

海保美宏さんにインタビュー
「ボッチャを始めるきっかけは何でしたか？」



生徒チーム大健闘



海保さんファミリー



海保ファミリーとのボッチャ交流会 (9月18日)

●メディアに取り上げていただきました！

毎日新聞 (9月22日)



NHKニュース (9月19日)
「支援学校生ボッチャの選手と交流」

十日町新聞 (9月24日)



妻有新聞 (9月26日)



新潟日報 (10月10日)



生徒会：世界の国旗制作 (9~10月)



日本の国旗
クロアチアの国旗
各国の国旗



スヴェンさんの
クロアチア紹介での
会場装飾に使用

1 学年：クロアチア調べ学習（9～10月）

十日町とクロアチアの交流

2002ワールドカップキャンプの模様
 2002 日韓ワールドカップのキャンプ場として、クロアチア
 ムを迎えました。
 クロアチアチームのキャンプはとてな理由
 ベインとポーランドの推薦もあり、クロアチアのサッカー
 関係者が十日町市に方言も高い平野面を以て、二度
 目の視察にキャンプ場内に決定
 クロアチアチームがいらした理由
 代表のシゲル監督はクロアチアチームが優勝する
 には難しいかも知れないが、ワールドカップには
 一つの優勝がある。それはホスト国。そこで
 十日町市の人々と友情を育み、ほら思い出
 を残すことが素晴らしいこと、言葉はいらない
 。




クロアチアピッチ
 クロアチアキャンプに使われ
 たピッチです。

クロアチアクラブハウス
 クロアチアチームが利用した
 クラブハウスです。

クロアチアの人口 4,416,400
 面積 57,902km²

首都 アドリア
 言語 クロアチア語
 自然
 気候
 クロアチアは海と山が美しい自然で
 美しい国。アドリア海に面するクロアチアは、スロベ
 ニアとスロベニア、セルビアに隣接する
 ユーロパの国です。





クロアチアの主な産業

・観光業
 「アドリア海の真珠」と呼ばれ
 ているドブログニクを中心
 ところに観光スポットが
 点在している。

食物





十日町とクロアチアの交流

クロアチアのさまざまな情報



アキコ・カズマツキ (Akiyo Kazumatsuki)
 2002年ワールドカップで活躍した選手

ルネー・ズベ (Rene Zvez)
 2002年ワールドカップで活躍した選手

W 最優秀選手
 モドリッチ






スヴェンさんのクロアチア紹介の会場にも展示

スヴェンさんのクロアチア紹介 (10月23日)



クロアチアの国旗



スヴェン・ビエランさん



クロアチアはネクタイ発祥の地



クロアチアのサッカーユニフォームを着て





クロアチア

首都：ザグレブ
通貨：クーナ
人口：約407万人(2019)
公用語：クロアチア語



HRVATSKA(フルヴァツカ)
独立宣言：1991年6月25日
(ユーゴスラヴィア)
宗教：キリスト教(約8.6%はカトリック)
面積：56,594 km²
島：1,244島

クロアチアと日本の姉妹都市：日本のホストタウン登録：
1. ザグレブ・京都 十日町市
2. ブラ・碧南 神戸市
3. リエーカ・川崎

ネクタイ

クロアチアはネクタイの発祥の地。
ブラに作られた世界で一番長いネクタイ(808メートル)



ヤニツァとイヴィツァ・コステリッチ



オリンピック

金 2002 フルトレイクシタツィ 女子回転
金 2002 フルトレイクシタツィ 女子大回転
銀 2002 フルトレイクシタツィ 女子複合
金 2006 トリノ 複合
銀 2002 フルトレイクシタツィ 女子スーパー大回転
銀 2006 トリノ 女子スーパー大回転
アルペンスキー世界選手権
金 2003 サンタレリツァ 女子複合
金 2003 サンタレリツァ 女子回転
金 2005 サンタレリツァ 女子複合
金 2005 サンタレリツァ 女子大回転
金 2006 サンタレリツァ 女子回転

オリンピック

銀 2006 トリノ 複合
銀 2010 バンクーバー 複合
銀 2010 バンクーバー 複合
2014 ソチ 複合
アルペンスキー世界選手権
金 2003 サンタレリツァ 回転
銀 2013 シェラウダツァ 複合
銅 2014 ソチ リンジャススーパー大回転

講義スライドより

講義スライドより

2002年FIFAワールドカップ
クロアチアキャンプのレガシー継承と
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて



新潟県 十日町市

ホスト
タウン

2002FIFAワールドカップへの参加



《 当間高原リゾートベルナティオ 》



世界が絶賛した緑のオアシス

- ・豊かな自然環境
 - ・ゆったりとした宿泊・休養施設
 - ・スポーツ施設
 - ・世界レベルの良質なピッチ（天然芝）
- ⇒完璧なキャンプ条件が整っている

当間多目的グラウンド



- ・1998年 2002FIFAワールドカップ
公認キャンプ地に立候補
- ・2001年 8か国代表団の視察を受ける

ホスト
タウン

キャンプ受入れから始まった交流



2002FIFAワールドカップ クロアチア代表キャンプ



夢叶の瞬間

2002年FIFAワールドカップのキャンプ地として
クロアチア代表チームを受け入れたことから
交流がスタートしました

新潟WBCとの車いすバスケットボール交流会 (10月23日)



デモンストレーション



競技用車いすの扱い方を
レクチャー



シュートを決めるのがむずかしい



生徒&職員+選手の
チームどうしによる対戦



新潟WBCとの車いすバスケットボール交流会 (10月23日)

●メディアに取り上げていただきました！

東頸新聞 (11月1日)



十日町新聞 (11月19日)



妻有新聞 (11月7日)

日本の文化・茶道体験 (11月9日・12月14日)



体育館に茶室出現！



花活けも体験しました



ごちそうさまです



棗 (なつめ) から茶杓 (ちゃしゃく) で抹茶をすくいます 16

日本の文化・茶道体験 (11月9日・12月14日)

●メディアに取り上げていただきました！



毎日新聞 (1月11日)

妻有新聞 (1月6日)

校長特別講義「オリパラを知ろう」(12月24日)

教材「オリンピック・パラリンピック大百科」を用いた授業（校長が担当）



講義スライドより

1964年、東京にオリンピック・パラリンピックがやってきた！

10月10～24日

アジア初開催

90を超える国・地域から
5000人以上のアスリートが

開通

東海道新幹線
【東京～大阪】

東京モジュール
【1962年～1965年】

日本経済発展

建設ラッシュ
大都市東京

200種目
163種目

人工湖で世界中にテレビ中継

日本選手355人
金メダル16個、銀メダル5個、銅メダル8個



2020年、東京にオリンピック・パラリンピックがやってくる！

2021年に延期

生まれ変わった国立競技場
オリンピックスタジアム

新種目

- 空手
- スケートボード
- スポーツクライミング
- サーフィン



東日本大震災からの復興

共生社会
障害者社会の実現

自然環境との調和

公営施設等のバリアフリー化



パラリンピックと障がい者スポーツ

パラリンピックは「もう1つのオリンピック」
障がいのある人が参加するスポーツの祭典

夏季公式競技

- ・陸上競技
- ・車いすバスケットボール
- ・車いすテニス
- ・アーチェリー
- ・水泳
- ・自転車
- ・車いすフencing
- ・卓球
- ・シッティングバレーボール
- ・ 휠チェアラグビー
- ・ホッケー
- ・5人制サッカー
- ・7人制サッカー
- ・ゴールボール
- ・柔道
- ・パワーリフティング
- ・馬術
- ・射撃
- ・セーリング
- ・ボート
- ・トライアスロン
- ・カヌー
- ・バドミントン
- ・テコンドー

冬季公式競技

- ・アルペンスキー
- ・クロスカンリースキー
- ・バイアスロン
- ・パラアイスホッケー
- ・車いすカーリング
- ・スノーボード

冬季大会は
1976年から

参加者の幅が広がった
1964東京オリンピック

「パラリンピック」が正式な呼称
となったのは1985年

私たちにできることは

2021に延期された2020オリンピック・パラリンピックが開催されても、中止になっても…



10日川市の震災リリーフ
令和3年6月4日（金）に実施



オリンピック・パラリンピックを学ぶことで
平和な世界を築ける

一日一日を大切に過ごすこと
感染症予防にしっかり取り組むこと

コロナ禍とオリンピック・パラリンピック

国際オリンピック委員会（IOC）ハバハ会議
11月中旬来日、「東京五輪に向けて準備を」

日本国政府の承認以上が
「さらに延期すべき」「中止すべき」を支持

トレーニングを続けるアスリートたちは…

「人間がコロナに打ち勝った証としての…」



医療従事者は大丈夫か？

「コロナ感染せず」「ウイルスコロナ期」となる？

延期されたオリンピック・パラリンピックは？

ワクチンが出回ればコロナ感染するかも…



体育：シッティングバレーボールとゴールボール体験（1月）

シッティングバレーボール：車いすの人や下肢に障がいがある人がプレイできるように考案されている球技

おしりを床につけたままボールを落とさないよう 手や腕でボールを打ち合うバレーボール



体育：シッティングバレーボールとゴールボール体験（1月）

ゴールボール：視覚に障がいがある人がプレイできるように
考案されている球技

目隠しをして鈴の入ったボールを転がし合い 相手ゴールにボールを入れて得点を競う



音楽：音楽で世界を旅しよう (1~2月)



世界の楽器、日本の伝統楽器・箏（そう・こと）の話

箏の演奏DVD観賞後、
全員が箏の演奏を体験



箏・トーンチャイム・ギターのコラボ合奏“炎”





成果と課題

「オリンピック・パラリンピック教育推進授業」アンケート (2月)

「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」アンケート

年 名前

1 楽しかった活動、印象に残っている活動、学習してよかったと思う活動に、○をつけてください (いくつでもよい)。

	活動名	○記入欄
①	海保ファミリーとのボッチャ交流会	
②	スヴェンさんのクロアチア紹介	
③	新潟WBCとの車いすバスケットボール交流会	
④	日本の文化・茶道体験	
⑤	シッティングバレーボールとゴールボール体験	
⑥	校長特別講義「オリパラを知ろう」	



2 すべての活動をおして、自分の考えに一番近いものをひとつ選んで○をつけてください。

	質問	
質問1	活動そのものが楽しかった	そう
質問2	いろいろな事にチャレンジしている人や知らない世界があることが分かった	そう
質問3	新聞やニュースで関係する話題が出たとき、以前より注目するようになった	そう
質問4	自分と考え方が違う人にも協力することは大切だと思う	そう

3 すべての活動についての感想を自由に書いてください。

美術：オリパラモチーフによるポスター制作

オリパラをテーマにしたポスター作りについて、感想を自由に書いてください。

音楽：音楽で世界を旅しよう

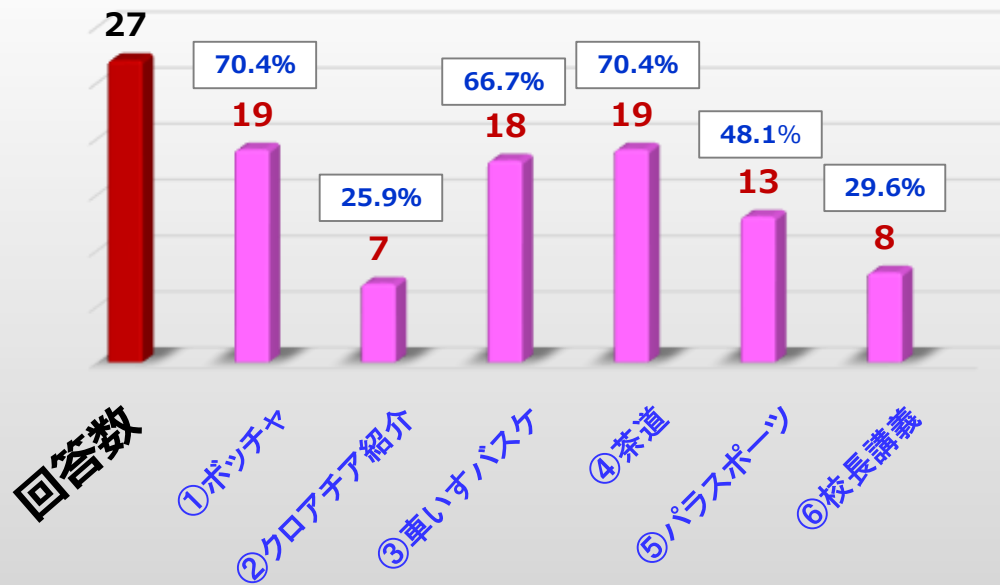
日本の楽器(箏)と世界の楽器、民族音楽について、感想を自由に書いてください。

「オリンピック・パラリンピック教育推進授業」アンケート（2月）

1 楽しかった活動、印象に残っている活動、学習してよかったと思う活動に、○をつけてください（いくつでもよい）。

- ① 海保ファミリーとのポッチャ交流会
- ② スヴェンさんのクロアチア紹介
- ③ 新潟WBCとの車いすバスケットボール交流会
- ④ 日本の文化・茶道体験
- ⑤ シットイングバレーボールとゴールボール（パラスポーツ）体験
- ⑥ 校長特別講義「オリパラを知ろう」

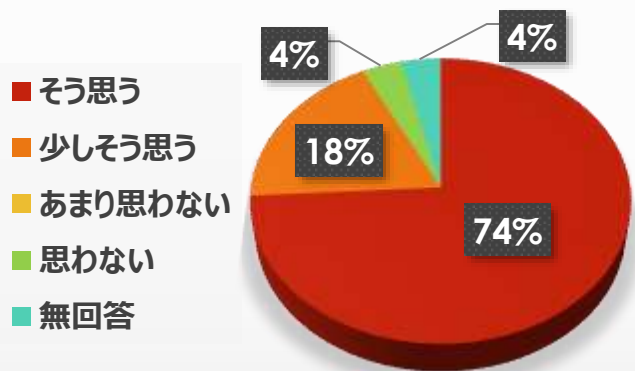
全校生徒31名中
27名から回答
(記名あり)



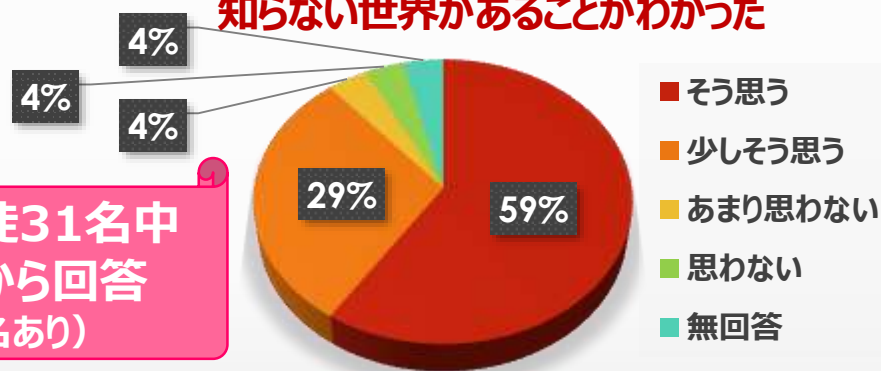
「オリンピック・パラリンピック教育推進授業」アンケート (2月)

2 すべての活動をとおして、自分の考えに一番近いものをひとつ選んで
○をつけてください。(そう思う・少しそう思う・あまり思わない・思わない)

質問1：活動そのものが楽しかった

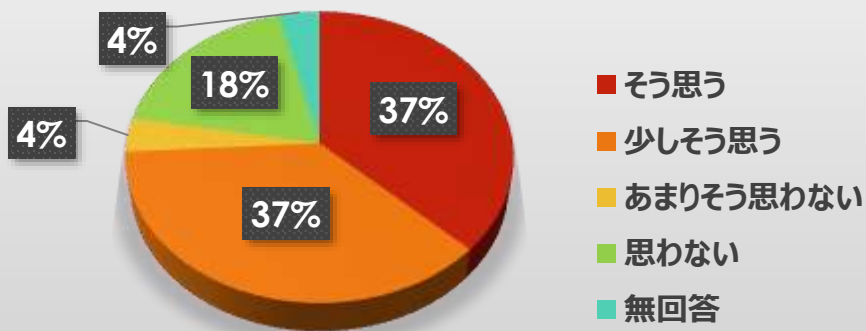


質問2：いろいろな事にチャレンジしている人や知らない世界があることがわかった

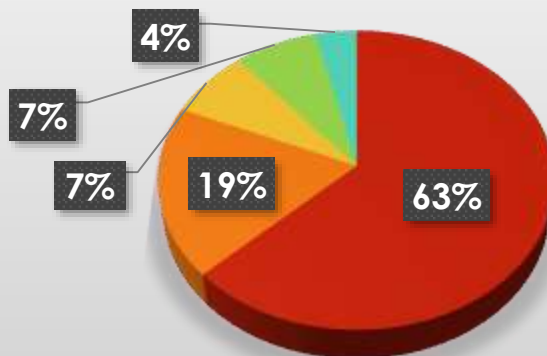


全校生徒31名中
27名から回答
(記名あり)

質問3：新聞やニュースで関係する話題が出たとき、以前より注目するようになった



質問4：自分と考えが違う人にも協力することは大切だと思う



「オリンピック・パラリンピック教育推進授業」アンケート（2月）

3 すべての活動についての感想を自由に書いてください。

- ボッチャやクロアチアなどのたくさんの活動が楽しかったです。
- 活動をとおして色々なことを知ることができたのでよかったです。
- 色々な体験ができました。
- 今年は、オリパラができるといいなと思います。
- オリンピック・パラリンピックのスポーツをもっとたくさん学んでやってみたいと思いました。
- 体験したことがなかったので楽しかったです。
- テレビ等で流れていたパラスポーツを実際にやることができるとてもよかったです。
- 知らなかったことを知ったり、体験できておもしろかった。
- また機会があれば色々な人と交流をしたいです。
- 色々な文化などを知れてとても楽しかったです。来年も体験してみたいと思いました。
- テレビで車いすバスケの話題があると見るようになった。またやってみたい。
- パラリンピックについて、さらに知ることができてよかったです。
- 取材があってテレビに映れてよかったです。
- 去年より活動がふえて楽しかったです。
- 様々な活動をとおしてオリパラについて知ることができました。

全校生徒31名中
27名から回答
(記名あり)

(主な感想を記載)

「オリンピック・パラリンピック教育推進授業」アンケート (2月)

美術：オリパラをテーマにしたポスター作りについて、感想を自由に書いてください。

- オリパラのもようでもスポーツフェスタのポスターをつくりました。
- 最初はどのような風にしようか悩みましたがよいポスターができてよかったです。
- 自分で作った作品がポスターになってうれしかったです。色々な色を使って楽しかったです。
- 色々なスポーツの型紙で上手くポスターができました。
- ストローに絵具をつけて吹きかけたのが楽しかったです。
- みんなの作品が色々な色を組み合わせるととても面白かったです。
- うまくできた。またやりたいです。

音楽：日本の楽器（箏）と世界の楽器、民族音楽について感想を自由に書いてください。

- 自分の知っている楽器もあれば知らない楽器もあり、世界の楽器はとても面白いと思った。
- 色々な楽器を使ってみたいと思いました。箏はむずかしかったです。
- 世界には自分の知らない楽器がたくさんありました。実際に演奏してみたいです。
- 今年は、オリパラができるといいなと思います。
- オーストリア、中国が楽しかった。
- 演奏したい楽器の種類が増えました。色々な音色がありました。
- 箏の演奏が楽しかったです。
- 箏はむずかしいけど一生懸命やりました。
- 日本の和太鼓が楽しかったです。

全校生徒31名中
27名から回答
(記名あり)

(主な感想を記載)

おわりに（成果と課題）

成果

- 事業予算によりボッチャ及び車いすバスケットボールの選手を指導者としてお招きすることができ、例年企画できないような教育活動をおこなうことができた。
- 生徒にとって、体験的な活動は楽しく学べる絶好の機会であり、「本物に触れる」ことは更に貴重な経験になる。
- 美術の授業、音楽の授業、茶道の体験など、芸術・文化の側面からもオリンピック・パラリンピックにアプローチできたことで活動の広がりにつながった。
- 生徒アンケート「すべての活動についての感想」の記述から、スポーツの価値、国際・異文化理解、共生社会への理解が深まったように思う。

課題

- 生徒アンケート「楽しかった、印象に残った、学習してよかった活動」は、ボッチャ（70.4%）、茶道（70.4%）、車いすバスケ（66.7%）と、体験が印象に残ることを如実に表しているが、クロアチア紹介（25.9%）、校長講義（29.6%）など、講義に耳を傾ける活動の浸透度は高くない。
- 生徒会、1学年でおこなった問題解決型学習の実践がもう少しあってもよかった。生徒が教材を自ら活用して探求する意欲を喚起し、オリンピック・パラリンピックへの関心をさらに深めさせたい。
- 外部講師を招いて交流しながら学ぶ活動を継続するためには、予算の確保が必要である。